



第18回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会
「遠山の金さん」の実像を語る

2月23日、市立図書館（道場小路）で、「第18回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会」が行われ、受賞作「涅槃の雪」の作者、西條奈加さんに正賞と副賞が手渡されました。

贈呈式後の記念講演会では、西條さんが「遠山金四郎の時代」をテーマに、テレビの時代劇で人気シリーズとなった「遠山の金さん」が生きた時代を語りました。参加者たちは、テレビでおなじみの人物の逸話に、興味深く聞き入っていました。



▲講演をする西條さん

五箇中3年生が茶道を体験
受験前にお茶とお菓子でリフレッシュ

2月18日、茶道体験のため、五箇中の3年生20人が翠楽苑（南湖公園内）を訪れ、一連の作法を習いながら、お茶やお菓子を楽しみました。

学級委員の有賀ちさとさんは「翠楽苑には初めてきました。とてもきれいな所です。お菓子もお茶もとてもおいしかったです」と話していました。

翠楽苑を管理する（財）白河観光物産協会からは、受験の合格を祈願して、生徒一人ひとりに白河だるま（豆だるま）が贈られました。



▲真剣にお茶をたてる生徒

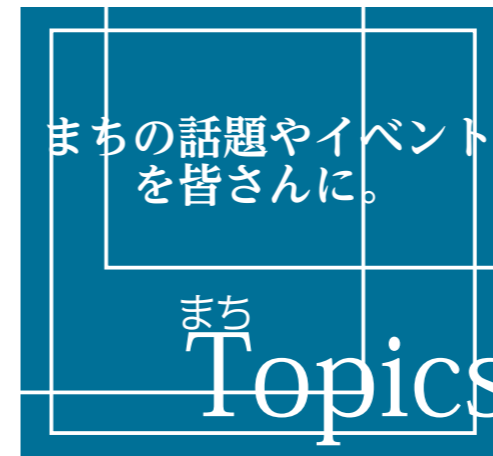
体育・文化成績優秀者表彰式
優秀な成績を収めた小・中学生61人を表彰

2月20日、文化センター（中田）で、平成24年度体育・文化成績優秀者表彰式が行われ、体育競技や文化活動において優秀な成績を収めた小・中学生の児童・生徒、総勢61人にその功績をたたえ、賞状とメダルが手渡されました。

受賞者を代表して、宮尾和佳奈さん（白二中3年）が「指導してくださった先生と、支えてくれた家族に感謝します。この気持ちを忘れず、今後も頑張っていきます」と話していました。



▲表彰を受ける生徒たち



▲展示解説会の様子

特別企画展「白河だるまと全国のだるま」
多彩な顔ぶれのだるまが大集合

歴史民俗資料館（中田）では、3月10日まで、特別企画展「復興祈願！七転び八起き・開運招福 白河だるまと全国のだるま」が開催されています。会場には、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から約400点を超える多彩な顔ぶれのだるまが並び、来場者の目を楽しませています。

また、「白河だるま市」にあわせ、2月11日にはだるまにちなんだイベントを開催、全日本だるま研究会会長の中村浩訳さんが「達磨から“だるま”へ～千数百年の遙かな旅～」と題し、だるまの歴史を講演したほか、現代美術家の山本伸樹さんが講師を務めた「福興だるま絵付けワークショップ」では、参加者たちが思い思いにオリジナルのだるまの絵付けを楽しんでいました。



▲だるまに絵付けをする参加者

歴史まちづくりシンポジウムを開催
様々な視点から歴史資源の活用策を探る

2月9日、市立図書館（道場小路）で「城下町白河における歴史まちづくり」～足元に残る資源の再発見とその活用策を探る～と題し、歴史まちづくりシンポジウムが開催されました。

全国の歴史まちづくりに関する話題提供に続き、基調講演やパネルディスカッションが行われ、城下町白河の歴史資源の活用策について様々な視点から意見が寄せられました。来場者は200人を超え、熱心に耳を傾ける姿が見られました。



▲パネルディスカッションの様子



今年ほどの大きさにする?
白河だるま市
2月11日/天神町・中町・本町



学校給食で鯛めしを堪能♪
愛媛県愛南漁業協同組合から養殖マダイの提供
1月25日/表郷中(写真)・東中・信夫一小・信夫二小・大屋小・大信中



おもてごう保育園



五箇幼稚園



ふるさとの空にひびく心の音色♪
第18回東音楽フェスティバル
2月3日/東文化センター(東釜子)



「私の夢」「私の好きなふるさと」をテーマに!
大信地域小中学生文学コンクール
1月23日/大信保健センター(大信町屋)



ひがし保育園



大信幼稚園

施設の催し★

▶歴史民俗資料館(中田7-1/☎@2310)

【利用案内】

◆開館時間 午前9時～午後4時
※特別企画展会期中(3月10日(日)まで)は午後5時まで開館

◆休館日 毎週月曜日

◆入館料 無料
※特別企画展会期中(3月10日(日)まで)は有料(大人200円、小中高生 無料)

【催し案内】

◇特別企画展 「復興祈願!七転び八起き・開運招福 白河だるまと全国のだるま」

●会期 3月10日(日)まで

◇常設展

「白河の歴史と文化」



三春だるま(白河製、大正14年)

<お知らせ>

▷館内の改修工事のため、3月12日(火)から4月中旬までは常設展のみ開催します。
▷3月23日(土)から予定していたテーマ展「白河ゆかりの作家たち」は、会期を変更して開催します(詳細は広報白河4月1日号でお知らせします)。

▶白河集古苑(郭内1-73/☎@5050)

【利用案内】

●開館時間 午前9時～午後4時

●休館日 毎週月曜日

◆入館料 大人310円(250円)/小中高生100円(80円)
※()は20人以上の団体料金
※毎週土曜日は小中高生無料

【催し案内】

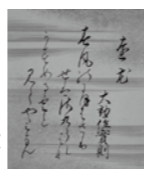
◇阿部家名品館

「伝来の遺宝と武家の装い」

●会期 3月24日(日)まで

「企画展 桜・さくら」

●会期 3月28日(木)から



徳大寺実則和歌懐紙「遠花」

◇結城家古文書館

「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」
ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」開催中

▶マイタウン白河(本町2/☎@7595)

【催し案内】

◇ふるさと写真塾写真展

●日時 3月7日(休)～10日(日)/午前10時～午後5時 ※最終日午後4時まで

☎ふるさと写真塾☎@1665

◇白河・那須文化交流美術展

●日時 3月16日(出)～24日(日)/午前10時～午後5時 ※最終日午後3時まで

☎同実行委員会☎@1421

▶文化センター(中田140/☎@5220)

【催し案内】

◇カラオケ喫茶K 歌謡発表会

●日時 3月24日(日)/午前9時から

●入場料 1,000円

☎カラオケ喫茶K☎@5000

▶東文化センター(東釜子字狐内47/☎@1131)

【催し案内】

◇コンサート&ハンドメイド・ワークショップ「音楽の輪で花咲かせよう&grand jute marche」

●日時 3月31日(日)/午前10時～午後4時

●入場料 無料

☎須藤☎090-9423-4117

▶市民会館(手代町22-1/☎@3718)

【催し案内】

◇しらかわ音楽の祭典事業「震災復興音楽祭～希望～」

●日時 3月11日(月)/午後2時～8時
※午後2時46分に黙とうを行います。

●入場料 100円(福幸菓子のプレゼントあり)

☎本庁舎生涯学習スポーツ課☎@1111 内2384

▶白河戊辰見聞館(中町65 築蔵/☎@9395)

【利用案内】

●開館時間 午前9時～午後5時

●休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

◆入館料 大人200円(150円)/小中高生100円(70円)
※()は15人以上の団体料金

【催し案内】

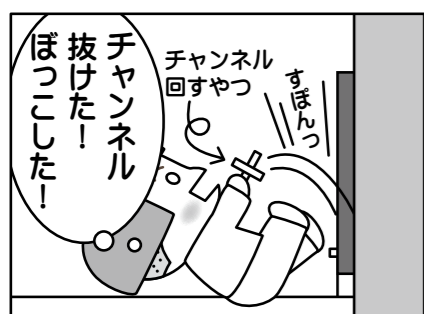
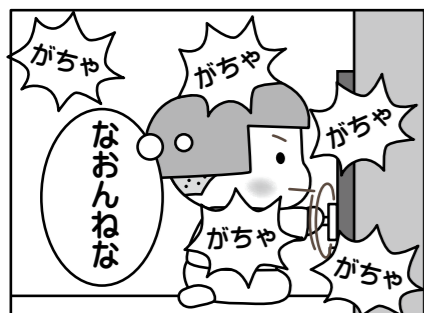
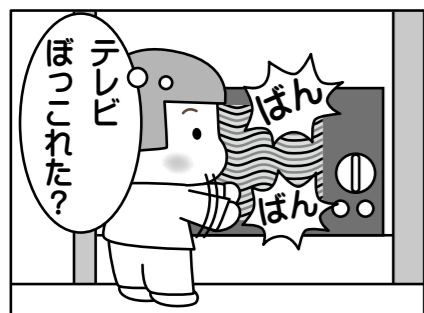
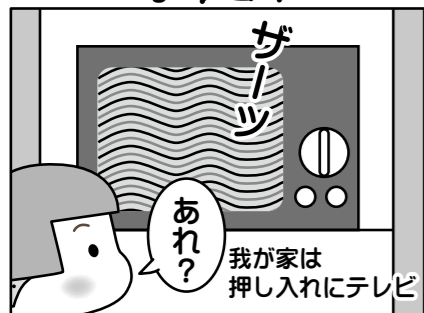
◇常設展 「戊辰白河口の戦い展」



スナイドル銃(左)
エンフィールド銃

ほんこのころろ

作 本町かずこ
ほっこす



昔は、テレビ叩いたり、チャンネル回したりして、直したり、ぼっこしたり(笑)

本町かずこさんに、白河市公式フェイスブックページのカバーのイラストを提供していただきました。とても温かく、かわいいイラストですので、ぜひフェイスブックをご覧ください。



■地域再発見 Report

古谷さんから話題提供!

愛宕山から「富士山」

白坂の愛宕山から富士山。1月4日に古谷修さん(白坂)が撮影したものです。

古谷さんは、以前埼玉県に住んでいたとき、毎日のように眺めていたのが富士山。本市に移り住むようになってからも、富士山が見える場所を探し、見つけたのが愛宕山でした。実際に見えているのが富士山なのかを確認するため、「富士見」の謎」の著者・地理学者の田代博さんに意見を求め、「富士山に間違いなし」というお墨付きをいただきました。

富士が見える場所・白坂。皆さんに見ていただきたい光景です。



※三角の点線が富士山です

輝きの記録



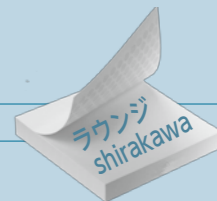
◆全国小・中学生第41回交通安全ポスターコンクール
文部科学大臣奨励賞

鈴木冴佳さん(中央中1年) 写真:右から2番目



◆第27回ごみに関するポスター展
最優秀賞

角田健太郎さん(白三小5年)



広報・白河まちなか逸品「お年玉スペシャル企画」

応募総数268通!! 当選者決まる!!

広報白河1月1日号掲載の「お年玉スペシャル企画～白河まちなか逸品プレゼント～」の抽選会が、2月5日に行われました。

プレゼント総数128品に対し、268通の応募があり、白河まちなか逸品まなび隊長の長谷川知寛さんが厳正な抽選を行い、当選者を決定しました。

長谷川さんは、「多くの反響があり大変嬉しく感じています。皆さんからのご意見を参考に、専門店ならではの選び抜いた逸品を紹介できればと思います。今後も期待してください」と話してくれました。

なお、寄せられた広報紙で取り上げてほしい内容や感想などは、今後、紙面作りの参考にさせていただきます。ありがとうございました。

吉田正一さんから話題提供!

小滝の清水の「水芭蕉」

吉田正一さんからいただいた、小滝の清水(東深仁井田)に咲く美しい水芭蕉の写真。

清水の水芭蕉は4月に開花予定。また、少数ですが、ザゼンソウやショウジョウバカマなども咲きます。

吉田さんは、「多くの人が遠くにある有名な観光地に興味を持ち、身近にある自然や史跡に興味を示さなくなっているのは寂しく思います。ぜひ美しい地元に目を向けてほしい」と話してくれました。



広報コンクールで広報白河が2位入選!!



県市町村広報コンクールで「広報白河10月1日号」が広報紙部門市の部で2位入選を果たしました。

今後も市の情報や皆さんの知りたい話題が詰まった、分かりやすい広報紙を目指します。

ちよっといいはなし

白河建設親和会の除雪作業

大勢の人が訪れた「白河だるま市」。このイベントは、多くの協力があって初めて成功します。2月10日には白河建設親和会(小野利廣会長)が除雪作業を行いました。

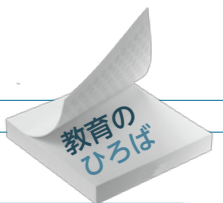


県南生協が仮設住宅住民を温泉に

1月29日、県南生協保養プロジェクトの支援事業として、本市に避難し、仮設住宅で暮らしている方をさつねうち温泉(東釜子)に招待しました。



■地域おこし Report



○住所 泉田南ノ内1
○電話 ☎3249

白河市立東北中学校
校長 佐川尚史

地域の教育力の活用を図りながら、生徒の「生きる力」を培う学校を目指して

本校は、各学年2学級、全校生が169人の学校です。大沼地区、小田川地区を学区とし、地域に支えられながら、昨年度に創立50周年を迎えました。

1 地域の伝統・文化を継承した活動

平成21年に福島民報社の厚生文化賞を受賞した「安珍歌念仏踊り」の学習は、毎年、保存会の皆さんにご指導をいただき、1年生が取り組んでいます。太鼓・扇子・衣装なども揃い、さらにインターネットによる調べ学習を取り入れ、今年度は学校祭で、「英語劇」を台本とした、ユニークな演出を行うなど年々充実した活動となっています。また、毎年3月には、地元安珍堂の供養祭で、地域の皆さんにも披露しています。

2 「体験」を通じた様々な学習

2年生は、市内19の事業所で「職場体験学習」を実施しています。地元企業にお世話になり、様々な職業や働くことについて学んでいます。3年生は西郷村の太陽の国での「福祉体験」、白河ウッドパワー大信発電所でのバイオマスエネルギーに関する「環境学習」と、学校の中ではできない貴重な体験学習を進めています。



▲安珍堂の念仏踊り

今月号は
「温かい善意」
のお話しです！

まよういっ
ホット情報
熱!!

■教育関係のホットな情報を皆さんへ



白河ユネスコ協会 だるま市街頭募金

白河だるま市で毎年恒例の白河ユネスコ協会「だるま市街頭募金」を行い、今年も多くの皆さんから募金をいただきました。

皆さんの善意は、世界の発展途上国の貧しい人々が、読み書きや生活の技術を学ぶ「世界寺子屋運動」への寄附や、白河の文化財保護等に使用させていただきます。

<ユネスコってなに?>

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。

ユネスコ憲章の前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」と明記されています。

●本庁舎生涯学習スポーツ課 ☎1111 内2382

今月のキーワード 「ひなんの家」

ひなんの家は、子どもたちが登下校時などに犯罪に巻き込まれそうな場合に保護し、警察や学校関係各機関への通報にご協力していただいている家・商店・事業所です。



▲目印のシール

特に、「声かけ」「連れさり」等の犯罪や「事故にあった」「具合が悪くなった」ときなどにもご利用ください。

●本庁舎生涯学習スポーツ課 ☎1111 内2383

すすめ隊

- し しっかりと大きな声であいさつを
- ら ランドセルの笑顔見守る地域の目
- か 簡単なことから始めようボランティア
- わ わがまちを誇りに思えるまちづくり

りぶらんだより Libran



- 映画で感性を磨く!!
- 市立図書館多目的ホールで上映される映画です。入場無料です。
- 大人向け 「花の誇り」(原作：藤沢周平) ■日時 ①3月2日(土) 午後1時30分～3時
2009年作品 ②3月20日(祝) 午後1時30分～3時
 - 子ども向け 「ダンボ」 ■日時 ①3月16日(土) 午後1時30分～2時40分
1941年作品



- 本が好きなになる!!
- 子どもたちが本を愛するように。
- ちびっこおはなしのくに ■日時 3月21日(木) 午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋
■対象 0歳～3歳程度
※3月7日(木)は、蔵書点検のためお休みとなります。
 - おはなし会 ■日時 3月23日(土) 午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋
■対象 3歳～小学生低学年
※3月9日(土)は、蔵書点検のためお休みとなります。



- 旬な話題に触れる!!
- 毎月、季節に合わせた本を展示しています。
- 大人の本 「春の足音」
いろいろな「春」の特集です。
 - 子どもの本 「春がきたよ～楽しいことが始まるよ」
出会いや別れの本、春の絵本を展示します。

◎市立図書館 ▶開館時間 平日10:00～20:00
☎3250 土・日・祝日9:30～18:00
▶休館日 月曜日、第1水曜日
(特別整理期間：3月4日(月)～15日(金))

◎表郷図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎4784 ▶休館日 祝日、火曜日、第1水曜日
Event 《おはなし、よんで! (0歳～小学生対象)》
■日時 毎週土曜日/随時
(特別整理期間：3月26日(火)～4月3日(火))

◎大信図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎3614 ▶休館日 月曜日、祝日の翌日
《絵で見るお話の会》※3月はお休みです。
(特別整理期間：3月20日(水)～26日(火))

◎東図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎1130 ▶休館日 祝日、火曜日、月末日
《図書館であそぼう!》※3月はお休みです。
(特別整理期間：4月3日(水)～9日(火))

図書館からお知らせ Information

図書館特別整理期間のお知らせ

蔵書の状態確認・調査のため、特別整理を実施します。期間中は休館となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ①市立図書館 3月4日(月)～15日(金)
- ②大信図書館 3月20日(祝)～26日(火)
- ③表郷図書館 3月26日(火)～4月3日(火)
※4/3は第1水曜日のため休館
- ④東図書館 4月3日(水)～9日(火)

【特別整理期間にできること】

- 本の返却（ブックポストをご利用ください）
- ホームページからの蔵書検索・予約（ただし本が受け取れるのは、整理期間終了後となります）

【特別整理ってなにをするの?】

- 行方不明の本がないか調べます
- 資料を正しい位置に戻します
- 破損した資料を直します
- ほかにも、機器類の保守点検を行ったり、資料が取りまきらなくなった棚の組み換えなども行います。

快適に利用できる図書館にするための大切な作業です。ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。



くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎32111/Fax322234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

出逢い＆ふれあいの企画委員

「出逢い＆ふれあいの会」の企画・運営に協力していただけるボランティアを募集します。

- 活動内容 イベント（年2回実施予定）の企画運営および月1回程度の企画委員会への参加
- 募集人員 5人程度
- 資格 満20歳以上の方で、市および西白河郡内在住の方
- 申込期限 3月29日（金）まで

案内

国民年金第3号被保険者の種別変更

サラリーマンの方に扶養されている20歳以上60歳未満の方は、国民年金第3号被保険者として国民年金に加入していただきます。次の場合は第1号被保険者として種別変更の届出を必ず行ってください。

- ①配偶者が退職された場合
- ②本人のパート等収入の増加により、配偶者の被用者保険などから除外された場合

ごみの適正な「分別」と「排出」にご協力を

《ごみの出し方》
集積所に出せるものは、指定袋（可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ）のほか、新聞、雑誌などの可燃性資源ごみです。ごみ収集カレンダーで収集日を確認して、収集日当日の午前8時30分までに、指定の集積所に出してください。

指定袋に入らない粗大ごみは「クリーンセンターへ自己搬入」または「戸別収集」により処分してください。戸別収集は、事前に本庁舎生活環境課・各庁舎市民福祉課・各行政センターの窓口で申し込みが必要となります。

《集積所に出せないごみについて》
法律などにより、次のごみは集積所に出すことが出来ません。細かく砕いても回収できません。それぞれの処分方法に従い、正しく処分してください。

- ◇テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機衣類乾燥機・エアコン
- 郵便局でリサイクル料金をお支払いのうえ、自己搬入または戸別収集により処分してください。
- ◇パソコン
- パソコンメーカーのサービスセンターにお問い合わせのうえ、メーカーの指示に従い処分してください。
- ◇消火器
- 専門の処理業者へ引き取りを依頼してください。
- ◇農薬の空容器
- 家庭菜園やガーデニングなどで使用した農薬のプラスチック製空容器は、本庁舎生活環境課または各庁舎市民福祉課で無料回収しています。キャップや容器をしっかりと洗浄したうえで、毎月1日、15日（回収日が祝祭日の場合は翌日）に持参してください。

《平成25年度ごみ収集カレンダー》
ごみの収集日や分別の方法が分かる「平成25年度ごみ収集カレンダー」を町内会を通じて各家庭へ配布します。カレンダーは、本庁舎生活環境課・各庁舎市民福祉課にもありますので、必要な方は各窓口にお越しください。

《不法投棄の厳罰》
不法投棄を見かけた場合は、市役所または警察署へ連絡をお願いします。不法投棄は犯罪であり、5年以下の懲役や1,000万円以下の罰金など厳しい処分が科せられることもあります。また、違反を重ねた場合は、白河市美しいふるさとづくり条例の規定により、氏名・住所等を公表します。

●本庁舎生活環境課 内2165/各庁舎市民福祉課 表郷☎32113 大信☎463974 東☎342113

●申し込み・問い合わせ先
本庁舎地域支援課 内2257

白河まちなか逸品巡りツアー

- 日時 3月23日（土）/午前11時～午後2時
- 募集人数 16人 ※先着順
- 参加料 1,000円（昼食・軽食代込み）
- 募集期限 3月21日（木）まで
- ※コースは当日発表します。
- 申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎3101

パソコン教室

《昼間入門講座》

- 日時 4月15日（月）～5月15日（水）（毎週月・水・金曜日）/午前9時～正午
- 会場 市産業プラザ人材育成センター（中田）
- 受講料 1万円
- 定員 20人（先着順）
- 申込開始 3月18日（月）から
- 受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
- 申込方法 受講料を持参し、センター窓口へ直接お申し込みください。
- 同センター ☎3512

もうお済みですか？ 自動車、軽自動車の変更手続き

自動車税、軽自動車税は、毎年4月1日現在の車検証に登録されている内容で課税されます。使用していない、住所が変わった、他人に譲渡したなど、登録内容に変更が生じた場合は、3月末までに必ず所定の手続きをしてください。

もし、移転や抹消の登録が行われていないと、平成25年度分も今年度と同様に課税されることになりますので、ご注意ください。

なお、3月下旬は手続き窓口が大変込み合いますので、お早めに手続きをしてください。

区分	自動車税（県税）	軽自動車税（市税）	
分類		・251cc以上のバイクを所有している方	・126cc以上250cc以下のバイクを所有している方 ・軽自動車を所有している方
注意事項	◎納税通知書は5月上旬に発送予定です。 ◎被災された方には、県税の特例措置により減免等が受けられる場合がありますので、ご相談ください。	◎軽自動車税には月割課税はありません。4月2日以降に名義変更しても1年分の軽自動車税が課税されます。 ◎納税通知書は5月中旬に発送予定です。	
移転・抹消登録などの窓口	福島運輸支局登録部門 ☎050-5540-2015 白河自家用自動車協会 ☎3850	福島運輸支局登録部門 ☎050-5540-2015	県軽自動車協会 ☎024-546-2577 本庁舎課税課/各庁舎総務課
問い合わせ先	県南地方振興局県税課 課税第二チーム ☎31519	本庁舎課税課 内2128・2129 各庁舎総務課 表郷☎32112 大信☎462113 東☎342112	

※身体、知的、精神に障がいがある方で、一定の要件が満たされている場合は、申請により自動車、軽自動車のどちらか一台に限り減免されます。詳しくは、それぞれの窓口までお問い合わせください。

関山山開き

本部 ☎0119

関山（標高619m）の山開きが行われます。集合場所から碓石登山口まで無料送迎バスを運行しますので、初心者の方もお気軽にご参加ください。

- 日にち 3月31日（日）
- 受付時間 午前8時～午前9時
- 集合場所 関辺市民体育館
- 駐車場 尚和化工跡地（体育館北側）
- （財）白河観光物産協会 ☎2147

案内

臨時納税窓口開設

市税の納付はお済みですか。市では、臨時納税窓口を開設しますので、ご利用ください。また、特別な事情により、納税することが困難な方のために相談もお受けします。納付が困難なことを説明できる書類などをお持ちのうえ、お越しください。

●日時 3月21日(木)～26日(火) / 午前8時30分～午後8時
※土・日曜日は午前9時～午後4時

●会場 本庁舎収税課(1階)
●本庁舎収税課 内2133

まちかど伝言板

白河く行田く桑名 絆リレ ーマラソンランナー募集

白河市、行田市(埼玉県)、桑名市(三重県)の友好都市15周年を記念し、福島からの震災支援の感謝と友好都市の

絆を深めるために行われる、リレーマラソンの参加者を募集します。1区間は2kmから10km程度です。

●日程 5月2日(木)～6日(月)
●行程 白河市～行田市～桑名市 140区間 650km
●対象者 10kmを50分程度で走れる方(途中区間だけの参加も可能です)
●参加費 3万円程度(宿泊代、食事代など)※バス代は白河走ろう会で負担します。

●申込期限 4月5日(金)まで
●白河走ろう会事務局長 長井 隆夫
☎・FAX 0240402

市民天体観望会

●日時 3月23日(土) / 午後6時～7時30分

●会場 JR白河駅前駐車場(駅交番西側)

●内容 月面ミッキーを見つけよう、木星と話題の彗星を見ようなど

●参加料 無料
※当日の天候により中止する場合がありますので、開催は電話でご確認ください。
●白河天文同好会 小椋 隆夫
3696

4月から身近な市が窓口となります!

次の手続きの申請先が、4月1日から市役所に変わります。

- 火薬類取締法関係(煙火の消費許可申請など) →本庁舎生活環境課 内2166
 - 武器等製造法関係(猟銃等の販売事業許可申請など) →本庁舎生活環境課 内2166
 - 障害者自立支援法関係(育成医療の支給申請など) →本庁舎社会福祉課 内2714
 - 母子保健法関係(未熟児養育医療の給付申請) →本庁舎健康増進課 ☎⑦2112
 - 採石法関係(岩石採取計画の認可申請など) →本庁舎商工観光課 内2212
 - 農業協同組合法関係(農事組合法人の設立の届出など) →本庁舎農政課 内2222
 - 電気工事業の業務の適正化に関する法律関係(電気工事業者の登録申請など) →本庁舎建築住宅課 内2264
 - 水道法関係(専用水道布設工事の設計の確認など) →水道部施設課 ☎⑦2541
- ※詳しくは担当課にお問い合わせください。

パーキンソン病と上手につき合っていくために

パーキンソン病について、薬の飲み方や向き合い方など、講師がアドバイスを行います。パーキンソン病と診断されて間もない方など、一人で悩まず、参加してみませんか。

●日時 3月31日(日) / 午前9時30分～11時30分
●会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)

●講師 自治医科大学神経内科准教授 藤本健一氏
●定員 50人

(財)立教志塾講演会

●日時 3月16日(土) / 午後3時から

●会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)

●内容 ▼講演「みんなが考えよう!福島復興シミュレーション!」
▼講師 東京大学名誉教授 大森彌氏ほか
●入場料 無料(一般可)
●(財)立教志塾 ☎③1427

『ある会津人の涙』

白河市長 鈴木 和夫



市長の手授え帖

「八重の桜」がいい。八重の一途さと会津の悲劇に、綾瀬はるか清楚な魅力も加わり、上々の滑り出しである。若い頃、会津にいた。今、会津史学会の会長として活躍の間島勲さんと、戊辰の戦場や藩士の碑を見てまわった。その中に、日本初の政治小説といわれる「佳人之奇遇」の作者、東海散土こと柴四朗の碑があった。いなく感激するとともに、弟に柴五郎という陸軍大将まで昇った人がいることを知った。一般的には知られていないが、会津の生んだ最高の人格と言われている。

その頃、「ある明治人の記録」会津人柴五郎の遺書」が出された。むさぼるように読むうち、自然と涙がこぼれたことを覚えていた。柴が幼年期から士官学校入学までを遺書にしたため、著者が整理した1859年藩上士の家に生まれる。厳格ながらも、慈愛に満ちた両親・家族の中で幸せに過ごす。翌年3月伊井大老が桜田門外に散り、激動の時代を迎えた。会津は京都守護職に就き政治の表舞台へ。ここから、激流にもまれる小舟のごとく歴史に翻弄される。

孝明天皇の厚い信頼を受けていた忠臣が、一夜にして朝敵にされる。徳川本家に代わり、武力征伐の標的とされた。もとより朝廷に抗する気は毛頭なく、薩長の仕打ちに怒ったのは当然のこと。幼子にも家中に張りつめた空気は伝わる。いよいよ

城下に敵が迫る。病に臥せる白虎隊一員の四朗は、母の命で身体をふらつかせ城へ。五郎は、叔母と泊まりがけで山菜狩りに行けと言われ喜んだ。これらは柴家を残し、子供を生かす方便だった。その間「女・子供が城にいては足手まとい」と母・祖母・兄嫁・姉妹は自害。五郎は、このことを思い出しては涙にくれた。

会津に下されたのは青森下北への移封。実質60万石から、1万石に満たない不毛の地へ。一藩流罪。悔しさをこらえ北に向かう。柴は「着の身着のまま、日々の糧にも窮し、伏するに褥なく、耕すに鋤なく、まことに乞食に劣る有様にて、草の根を噛み、氷点下20度の寒風に蓆を張り、生きながらえし辛酸の日々」と記す。髪はぬけ落ち、高熱で生死をさまよった。

暗闇から一条の光がさした。ある縁で青森県庁の給仕に採用。さらに陸軍幼年学校への道が開け士官学校へ。とはいえず、軍では特定の出身者が幅をきかす。叩かれないよう、己を律し、慎重に振舞ったことだろう。いつしかその能力は誰しも認めるところとなり、加えて誠実で折り目正しい人柄は、会津のハンデを乗り越えた。

柴五郎の名声が高まったのは、1900年の北清事変。眠れる獅子に襲いかかる欧米。「義和団」という宗教的結社を核に、愛国排外の運動が中国全土へ広がる。あつという間に公使館が破壊される。追いつめられた各国は北京城へ籠もる。この後、援軍到着までの2か月間、総勢4千人で20万の猛攻に耐えた。

大混乱の中、終始冷静に対処し、連合軍のリーダーを果たしたのが柴中佐。英・仏・中国語を駆使し各軍を束ね、周辺の地

理や敵情にも通じ、臨機応変に策をうった。勇将の下に弱卒なし。日本兵の規律と勇敢さは群を抜いた。イギリス公使は「北京籠城の功績の半ばは、柴と配下の日本兵に帰す」と賞賛。凜とした会津人の行動が、日本への信頼を醸成し、2年後の日英同盟のきっかけをつくった。

柴は、この華々しい武勲にもかかわらず、「軍の一員として働いたまで」と功を語らなかつた。誠に謙虚な人柄。師団長・台湾軍司令官を経て退役し、東京郊外に隠棲。著者が面談し、遺書の草稿について話したのは84歳の頃。白ひげに木綿の粗末なモンペ姿。ぼつぼつと語るうちに言葉がとぎれる。みると、老顔に石清水のような清らかな涙が流れている。落城、痛恨の別れをした母への思慕、北への流浪、溶かそうとして溶けない薩長への恨み。全てがまじりあい胸にあふれたか。

ときに大戦のさ中。柴は「この戦は負ける」と淋しい面持ちで語る。鋭い目つきで、「近頃の軍人はすぐ鉄砲を撃ちながら。国の運命を懸ける戦はそのようなものでない」と国を誤らせる軍人を批判した。昭和20年12月死去。柴は生涯をどう振り返っただろう。少年と晩年の敗戦。積み上げた石垣が、音を立てて崩れていく空しさの中で旅立った。哀れを誘う。が、先に待つ家族のもとにいける安らぎに包まれていたとも思う。

柴五郎や後の東京帝大総長、山川健次郎らは大きな不条理と、とてつもない逆境の中で、運命に立ち向かった。福島は大災害と原発に苦しめられている。しかし、柴らの生きた時代の制約と困難に比べたら、まだ自由だし、障がいも少ない。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。

リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。



No.11 The company in Shirakawa

白河バープレジジョン(株)
SHIRAKAWA BAR PRECISION CO., LTD.

住所：東工業団地字南5
事業内容：油圧シリンダー用ピストンロッド両端加工品など

**人を活かし、技術を極め
魅力ある商品で社会貢献を目指す**



- ① 建設機械の部品となるピストンロッド両端加工品
- ② 社名には、棒状の金属（バー）を精密に（プレジジョン）加工したいという意味が込められています
- ③ 社員の皆さん（前列中央は工場長の矢内さん）。和気あいあとした良い雰囲気職場です
- ④ 自動切断機は鋼材を自動で切断します
- ⑤ 工場には安全衛生掲示板を掲示し、安全第一の意識向上を図っています
- ⑥ 「仕事に地道に取り組む社員から、白河の人の真面目な気質を感じます」と話す社長の小木曾さん

「私たちの会社では、安全第一を心掛け、きれいな職場でより良い製品を作ることを目指し、社員間で意思疎通を図りながら、鋼材の加工に取り組んでいます」と話す工場長の矢内希男さん。

白河バープレジジョンは、小木曾工業(株)（愛知県名古屋）の子会社として、東工業団地に平成19年10月に創業しました。パワーショベルなどの建設機械に使われる油圧シリンダー用ピストンロッド両端加工品などを製造しています。

敷地面積は5,000㎡、建物面積は2,000㎡。月に1回行う安全衛生委員会では、社員の中から責任者を決め、工場長と2人で工場内のパトロールを行い、指摘か所を改善しながら安全第一に努めています。

また、品質向上を目標にしたQC（クオリティコントロール）活動を昨年9月からスタートしました。週に1回、3グループに分かれ、より良い製品を作るため、3S（整理・整頓・清潔）の徹底など、人づくりや業務の改善・改革に向けて取り組んでいます。

「人を活かし、技術を極め、信頼される企業体質を作る。魅力ある商品を提供し社会に貢献する」。この経営理念のもと、社員の幸せと、地域社会の発展に向けて、これからも努力していきます」と社長の小木曾知弘さんは優しく話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、1月18日から2月19日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

2月20日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 村尾祐美子 様
- 吉野秀朗 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(1月22日～2月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 天理教 北多摩西部支部 様
- 栃木ボランティアネットワーク 様
- とちぎYMCA 様
- (社)福島県エルピーガス協会 白河支部 様
- 被災地と埼玉をつなぐ会 様
- 県南生協保養プロジェクト 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、伝統行事「白河だるま市」の様子です。大勢の人でにぎわう本町通りをマイタウン白河の3階から撮影しました。

会場となった天神町・中町・本町の約1.5kmの目抜き通りには、約15万人が来場し、約700もの露店が並ぶ通りを楽しみながら、だるまを売る威勢の良い声に誘われ、福を買って求めています。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>